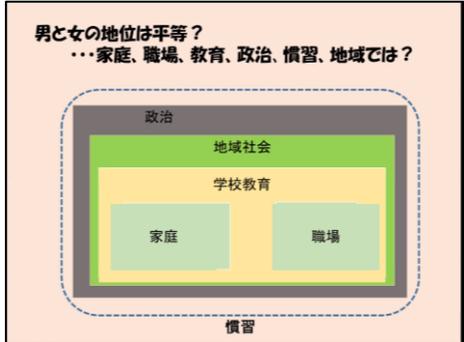




令和3年6月30日、(公財)えひめ女性財団 理事長である越智 やよいさんを講師に迎え、コムズで学びなおし講座の第1回目を開催しました。「『男女共同参画』の今、そしてこれから」をテーマに掲げ、生活を取り巻く様々な場面で、性別による不自由や困難があることに気付き、一人ひとりが「私らしく」生きられる社会を実現するために、それぞれが出来ることについて講演していただきました。

講座で使用した資料の一部



怒りを上手に表現する

- 怒りを言葉で表す

YOUメッセージ
「あなたってひどい」「あなたって最低」「あなたが悪いのよ、そんな言い方するから」

Iメッセージ
「私、腹が立ったよ。そんな言い方されたから」「私、なんだかいやな気持ちがある」「私ムカムカしてきたわ」「私、頭にきた」「私、はらわたが煮えくりかえしそうなくらい、おこっているよ」

職業生活における男女共同参画の推進状況

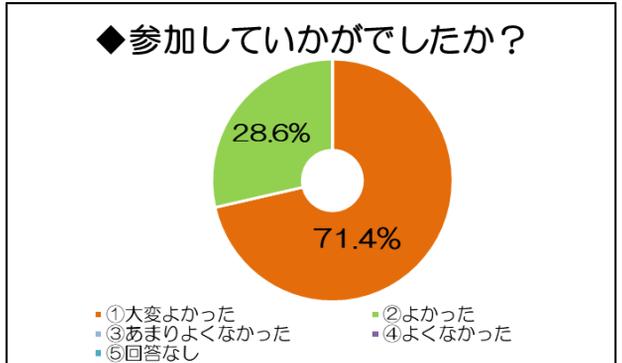
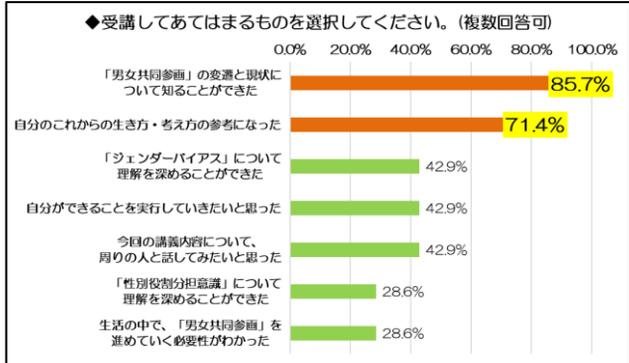
女性の就業率の低さとその理由

- ・69%OECD加盟国34カ国中24位(男性は92%で2位)
- ・出産を機に5割の女性が退職 専業主婦が多い
- ・仕事を辞めた理由
家事育児に専念する自発的理由39%
家事育児の両立が困難26.1%

勤務時間が合わない65.4%
職場に支援する雰囲気がない49.5%

仕事も家庭でもいっしょにしたい！
もう、ダメかも！
我が家は、平日母子家庭
我が子へいつモイラっていい、ごめんね！
同僚へ「ごめんね、遅延かけて」
子育て中だからって、「軽微なミス」にしないで

アンケート結果と参加者の感想



90分という時間で「男女共同参画」について幅広く知ることができ、大変有意義な講座でした。男女共同参画だけでなく、今後の生活の中でも生かせるスキルなど、さまざまなことを勉強させていただきました。(20代/男性)

戦後から始まった考え方が、70年以上経ってもまだ進んでいないという現実を実感しました。越智さんがおっしゃっていたように、女性が声を上げていかなければならないという現実を感じています。(30代/女性)

『私』を主語にして、気持ちを率直に伝えることを今後の人生で実践します。(60代/男性)

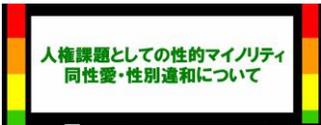
配偶者暴力相談支援センターについて

配偶者からの暴力の防止と被害者の保護を行っている施設を紹介しします。(愛媛県内は3カ所)

- ①愛媛県福祉総合支援センター 089-927-3490
- ②愛媛県男女共同参画センター 089-926-1644
- ③新居浜市配偶者暴力相談支援センター 0897-65-1480
- ※全国共通短縮ダイヤル #8008



なぜなに！？LGBT 同性愛・性別違和を知る講座

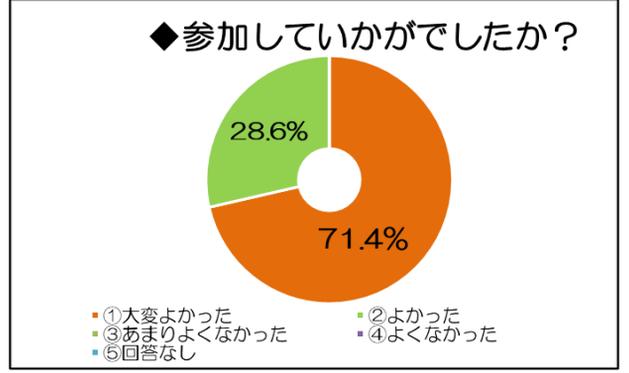
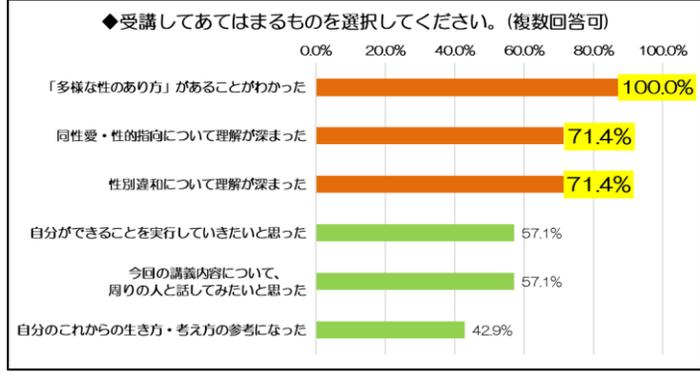


同性愛
異性愛でないとは？
(好きになる性別は人それぞれ)
・異性愛 (バイセクシュアル)
・同性愛
・恋愛を求めない ・性欲がない

性別違和
男らしくない男、女らしくない女は変？
(その人のしっくりくる性が周りの認識と違う問題)
・性同一性障害 (性別不適合)
・トランスジェンダー

令和3年7月14日、レインボープライド愛媛で代表を務めるエディさんを講師に迎え、コムズで学びなおし講座の第2回目を開催しました。
性的少数者（LGBT）の方たちは特別扱いをしてもらいたいわけではないことや、声を上げている当事者よりも隠れていなければならない当事者のことを考えてほしいことなどを教えていただきました。そしてLGBTの方たちのことを我が子などの身近な存在として肯定できるか考える講座となりました。

アンケート結果と参加者の感想



LGBTについての知識習得、現状理解ができました。ありがとうございました。(30代/女性)

性的マイノリティについて知っているつもりになっていたことが、エディさんのお話を聞かせていただいてよくわかりました。今、いろんなところで性について考える場面が多くなってきています。しっかりと自分の意見を持ち、できることから始めていこうと思いました。(40代/女性)

人の性的な指向は人それぞれであり、自由であると思いますが、LGBTの方は世間の理解不足で苦労されていることがわかりました。(60代/男性)

エディさんのお話を聞かせていただき、再確認することがたくさんありました。LGBTの方々メディアに登場することが増えたのは、いいことだと思います。隠れざるを得ない当事者をなくしていくよう、私も私にできることを進めたいと思います。(70代/女性)

愛媛LGBTセンター虹力(にじから)スペースについて

松山市内にLGBTと家族のための交流支援施設がオープンしました。セクシュアルマイノリティ当事者が自分らしく集まれる常設の交流支援センターです。エディさんが代表を務めているレインボープライド愛媛が開設し、行政ではない当事者の方たちの想いで維持・運営されています。



※画像引用:レインボープライド愛媛HP

愛媛県LGBT電話相談

愛媛県では毎月第2月曜と第4日曜の18時～21時半、性に関する様々な悩み相談を受け付ける電話相談窓口を開設しました。匿名での相談が可能で、秘密は厳守します。

電話番号：**070-4286-0409**(通話料がかかります。)

災害時 みんなの命と暮らしを守るために



令和3年7月28日、女性と防災の会代表の小國恵子さんを講師に迎え、コムズで学びなおし講座の第3回目を開催しました。
ワークショップを通じて、「避難所内の生活空間・防犯、物資等の配給」などを話し合いました。また、トイレの備えの重要性を知りました。もしもの時にかにして自分・家族・地域を守るのか、西日本豪雨災害の支援を経験した小國さんから学び、深く考える講座となりました。

講座で使用した資料の一部

避難所でのこと あなたなら どうする？

人目を気にせず横になりたい
重畳したいけど...

皆さん、私たちは家族です。一体感が失われるので立はいらなくてですね

和を乱す人は出て行ってもらいます

同じ町内でわがままは言えない

街立はいらない。家族なのだから

女性も0歳リーダー

災害関連死を防ぐTKBってなに？

資料引用 2018.12.11

TEAM防災ジャパン

【普及啓発】「災害時の避難所には「TKB」」学会が提言 (避難所・避難生活学会)

T トイレ 快適で 十分な数のトイレ
K 食事 温かい食事
B ベッド 簡易ベッド

避難所生活を日常生活に近づける 健康の維持になる

地域の防災力を高める

地域の特性とリスクを知る 被災に取り組む 防災訓練

住民ひとり一人が備える 自身の命を守る。ケガをしない。生き残るための知識を備え。住宅耐震化、地震調査。水・食料備蓄、トイレ対策。避難行動に関する取り決め要配慮者の把握

地域で備える 避難場所、避難所の環境を整える。避難生活のルール作り。人材発掘、資機材

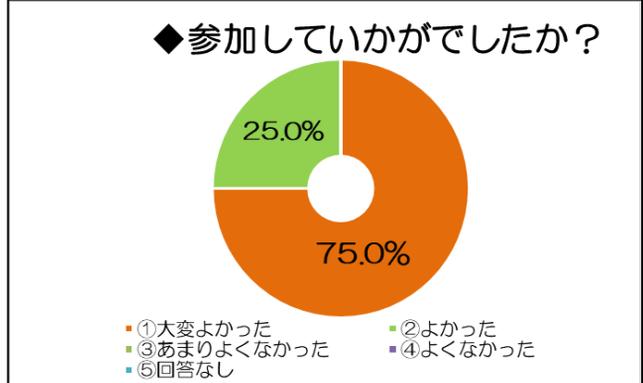
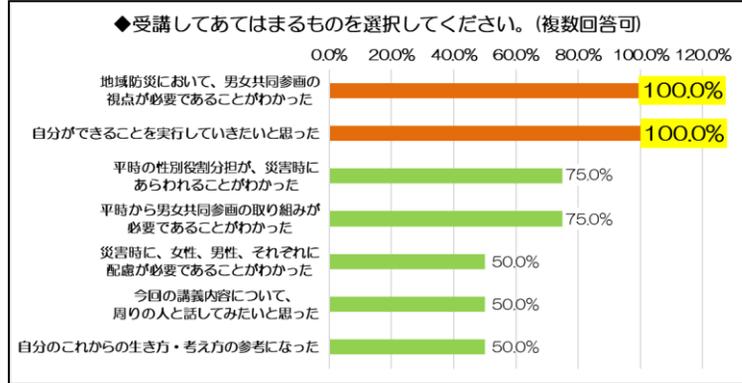
自助+共助

連携する 学校、保育園、介護施設企業、医療機関、行政等、児童民生委員、地域企業、スーパーマーケットほか

犠牲者を出さないことを目指す

※地域で女性リーダーを増やす

アンケート結果と参加者の感想



実際の現場での状況を写真付きで説明して下さったので、とても説得力がありました。私も、災害に備えての「あんしんアルバム」・防災風呂敷の講座を実施しておりますので、その際に参加者の方にお伝えできる内容が増えました。(50代/女性)

過去に起こった大災害について、女性の方が多く犠牲になっているなど知らないことがあり驚きました。3年前の西日本豪雨災害での野村町や吉田町の避難所の様子を聞いて、これからの自分の暮らし方について考えるよい機会になりました。自分も防災士としてもっと頑張らなければと思います。(60代/女性)

防災ハザードマップについて

松山市では東日本大震災以降、南海トラフ巨大地震の被害想定が公表されたことや、防災に関する法律や制度が改正されたことなどを踏まえ、「まつやま防災マップ」の改訂版を作成し、市内全戸配布しています。右図が講座で紹介されたハザードマップの一部です。いつでもすぐに繰り返し見られるよう、分かりやすい場所に保管しておきましょう。

